

ジブチ月例報告 (2023年10月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

●10月1日、2023年第2回通常国民議会が開会。同開会式にアブドゥルカデル首相を始めとする閣僚、各州知事及びジブチ駐在の外交団代表等が出席。

【外政】

●10月2日及び3日、ゲレ大統領は、アワレ農業・水・漁業・畜産・水資源大臣とともに、2023年ドーハ国際園芸博覧会の開会式に出席するため、カタールを訪問。

●10月4日、イリヤス経済・財政大臣は、アディスアベバで開催された第18回「アフリカの角」イニシアティブ閣僚会合に出席。同会合では、国境地帯周辺のより効果的な開発を促進する方法や民間セクターの参画拡大等について意見交換。

●10月8日、ジブチ外交研究所（IED）は、ユスフ外務・国際協力大臣、モハメド IED 所長、タベス駐ジブチEU大使らが出席する中、地域統合をテーマにした5日間のセミナーの開講式を開催。

●10月8日、外務・国際協力省は、イスラエル・パレスチナ間の武力衝突に関する声明を発表し、現在進行中の事態のエスカレーションの責任はイスラエルにあると考える旨言及。

●10月11日、ユスフ外務・国際協力大臣は、カイロで開催されたパレスチナに関するアラブ連盟緊急外相会合に出席。同会合は、パレスチナの要請によりモロッコのイニシアティブによって開催されたもので、ガザ地区におけるイスラエルとの戦争終結のためのアラブ諸国及び国際レベルでの政治的行動について協議。

●10月18日、イリヤス経済・財政大臣は、北京で開催された第3回「一带一路」国際協力ハイレベルフォーラムに出席。同フォーラムのマージンで、同大臣は、Li Mingxiang 中国共産党中央委員会国際副部長、Zhang Wencai 中国輸出入銀行副総裁等との会談を実施。

●10月18日、外務・国際協力省は、イスラエルがガザ地区のアル・ムアダミ病院を爆撃し、パレスチナ人数百名の死傷者を発生させた事に対する可能な限り強い言葉で非難する旨の声明を発表。

●10月23～27日、ディレイタ国民議会議長は、第147回列国議会同盟（IPU）総会に出席するため、アンゴラを訪問。同総会のマージンにおいて、Martin Chungong・IPU事務総長との会談を実施。

●10月31日、ジブチ政府は、ガザ地区の一般市民に影響を与えている悲劇の継続を強く非難するとともに、ガザ地区の市民を保護し、国際的な合法性を回復するための国

連部隊設立という南アフリカのイニシアティブを支持する旨のコミュニケを発表。

【経済・開発】

- 10月4日、ヨニス・エネルギー大臣は、Beate Dastel・UNICEFジブチ常駐代表の表敬を受け、再生可能エネルギー分野におけるエネルギー省とUNICEFとの間の戦略的パートナーシップのベースの構築について意見交換。
- 10月9日、イリヤス経済・財政大臣は、国際通貨基金・世界銀行年次総会に出席。同総会では、世界経済の課題とその影響を緩和する方法について議論され、イリヤス大臣は健全な経済運営に対するジブチ政府のコミットメントについて発表。
- 10月17日、ジブチ商工会議所は、在ジブチ・インド大使館及び在インド・ジブチ大使館との共催により、インド・ジブチ経済フォーラムをハイブリッド形式で開催。ジブチ国際見本市を案内するとともに、経済関係のさらなる発展について議論。
- 10月17～19日、ヘレム環境・持続的開発大臣は、サウジアラビアで開催された第9回イスラム諸国環境大臣会合に出席。
- 10月19日、アブドゥルカデル首相は、ユスフ外務・国際協力大臣、アフメッド中央銀行総裁、ユスフ・ジブチ商工会議所会頭らとともに、ジブチ政府と中東・北部アフリカFATF（金融作業部会）型地域体との間で、マネーロンダリングやテロ資金対策に関する会合を実施。
- 10月24日、ダウドゥ民間航空局局長とプルカレスキュ駐ジブチ仏大使は、ジブチと仏との間の民間航空保安に関する協力協定の更新に署名。同協定は、空域管理、航空安全、人材育成といった分野をカバー。
- 10月26日、アブドゥルカデル首相は、ジブチ初のクラウドファンディング・プラットフォームであるINCLUFINのローンチ・セレモニーに出席。同プラットフォームは、ジブチの中小・新興企業に資金提供を目指すべくジブチ・ソブリン・ファンドが設立。

【保健・衛生・社会】

- 10月3日、アブドゥルカデル首相は、先週から続く地震の状況把握・対処及び自然災害に対する予防メカニズムの強化に関する会合を開催。
- 10月7日、憲兵隊は、タジュラ地方において不法移民の一斉検挙作戦を実施。同作戦によって、エチオピアからの413名の不法移民を送還。
- 10月12日、バードン法務・刑務大臣は、2021年末から運営を開始した国立司法研究学院（Ecole Nationale d' Etudes Judiciaires）の第一期生の修了証授与式に出席。同校は、公的な司法サービスの質を高め、司法へのアクセスと司法の訓練を改善し、司法を国民に身近なものにすることを目的に設立。
- 10月15日、ゲレ大統領は、新たに就任したエイミー・ポープ国際移住機関（IO

M) 事務局長の表敬を受け、移民という分野横断的な問題における緊密な協力関係について意見交換。また、22日、同事務局長及びユスフ外務・国際協力大臣が共同議長を務め、移民に関するワークショップを開催。

●10月28～30日、ジブチ社会保障基金は、Africa Resource Centre 及び Sanofi との共催による、国内外の医薬品サプライチェーンに関する専門家を集めた第1回 Djib Expo Pharma フォーラムを開催。

●10月30日、国家人権委員会は、ビジネス・セクターにおける人権に関するワークショップを開催し、バードン法務・刑務大臣、ハッサン・インフラ・設備大臣、ムナ女性・家族大臣、サフィア投資・民間部門開発担当長官らが出席。

【軍事・治安】

●10月18日、プルカレスキュ駐ジブチ仏大使は、アブドゥラフマン国家警察長官とともに、ジブチ国家警察に対する科学捜査機材供与に係る式典に出席。

【日本関係】

●10月3日、ジブチ沿岸警備隊は、JICAによるジブチ沿岸警備隊能力拡充プロジェクトフェーズ3の枠組で実施された消火・曳航・救助技術研修及び船外機メンテナンス研修の修了式を開催。

●10月12日、大塚大使は、ディキル州知事、ディキル州議会議長らとともに、令和4年度対ジブチ草の根・人間の安全保障無償資金協力によるディキル州ガラモ地域地下貯水槽建設計画の引渡式に出席。

●10月16日、大塚大使は、アブドゥルカデル首相、アワレ農業・水・漁業・水産資源大臣らとともに、国連食糧農業機関（FAO）主催による世界食糧デー・イベントに出席。同イベントのプログラムの一部として、我が国の令和4年度補正広域案件による動物飼料の引渡が実施。

●10月30日、大塚大使は、離任挨拶のためにアブドゥルカデル首相、ディレイタ国民議会議長、ハッサン・インフラ・設備大臣等への表敬を実施。

●10月31日、ジブチ自衛隊拠点は、自衛隊記念日式典を開催。大塚大使、鈴木派遣海賊対処行動支援隊（DGPE）司令によるスピーチ後、自衛隊拠点による武道展示が行われた。また、同日に大使公邸にてレセプションを開催。

（了）